

# ☆ 森林環境教育の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や自然観察会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



平成20年度の樹木博士認定会の取り組みについては、公募により4回（6月、7月、8月、10月）の定期開催を実施しました。また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。定期開催の開催結果の内容については、次のとおりです。



**第1回は、参加者22名の内、小学生は3人参加。対象樹木は、20本を選定し、樹木の特徴を説明して試験を行いました。**

**第2回は10名により実施。参加者のレベルが高く、半分以上の方が満点をとりました。**



**第3回は、11名が参加し、初回～2回目の方（試験木20本）とベテランの方（試験木30本）の2組に分かれて実施しました。**

**第4回は、17名の参加があり、日頃の学習の成果を発揮するとともに、秋の森林散策を楽しみました。**



## ● 定期開催結果

回数	認定会日時	参加者	内 訳
第1回	6月 8日（日） 10:00～12:30	22人	子ども3、大人19
第2回	7月25日（金） 10:00～12:30	10人	子ども1、大人 9
第3回	8月 8日（金） 10:00～12:30	11人	子ども1、大人10
第4回	10月 5日（日） 10:00～12:30	17人	子ども0、大人17

## ● 樹木博士認定状況

20年度末 累計	1,370人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた計です）
----------	--------------------------------

## 自然再生等モデル事業以外の取り組み

### ☆ 森林づくり塾2008 開講

#### 目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

森林づくり塾の取り組みについては昨年度に引き続いて2回目となります。参加者は公募を行った結果、函館市近郊から定員の30名となり、森林作業を中心とした全6回の講座を実施しました。各講座の実施内容については、次のとおりです。

平成20年6月1日（日）森林づくり塾2008の第1回講座が6月1日（日）スタートしました。開講式の後、樹木医の斎藤 晶先生（函館市在住）を講師として「森林づくりの基礎講座」の講義を実施しました。その後、カリマ国有林（七飯町）において、1人約35本、0.37ヘクタールの面積にミズナラやエゾヤマザクラの苗900本を植樹して植付の目的や基礎を学び、心地よい汗を流しました。



2回目講座は6月15日（日）、塾生24人が参加する中、森林環境教育をテーマとした「草本類の観察会」を函館山登山コースにおいて実施しました。講師として、北海道アウトドアガイド（自然）の木村マサ子さん（函館市在住）を招きガイドをして頂きました。

また、3回目講座は7月6日（日）、塾生21人が参加する中、カリマ国有林（七飯町）において森林体験をテーマとした「下刈作業」を実施して、その目的・効果などを学びました。



4回目講座は8月24日（日）、塾生19人が参加する中、鹿部駒ヶ岳国有林（鹿部町）において「治山工事箇所見学会」を実施しました。現地の説明には、管轄している渡島森林管理署 治山課長に依頼し、工事の目的・仕組み・効果など、実際の構造物を前にして説明を受けました。

また、9月28日（日）には5回目講座を開催し、塾生21人が参加する中、昭和57年度植栽のトドマツ造林地（軍川国有林／七飯町）において、枝払い・保育間伐作業の森林体験を実施して、その役割・効果などについて学習しました。



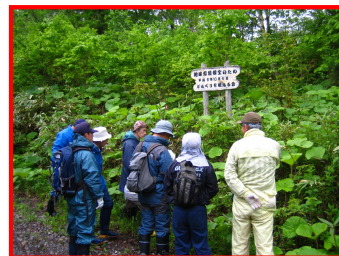
最終第6回講座は10月19日（日）、塾生19人が参加する中、午前中は大沼森林公園（七飯町）において、輪尺・測高器による測樹体験、午後からは吉野山国有林（七飯町）においてコンテナ苗づくりを実施。また最後には、塾を締めくくる閉講式・修了証書の授与を行い、本年度の講座を終了しました。



## ☆ その他

平成20年6月7日(土)、「大沼の水と緑を守る会」主催の「植苗地の見聞と植生観察会」(カリマ国有林ふれあいの森)に参加しました。

函館植物研究会 代表 工藤 光信 氏による植物の説明を受けながら植栽木の状況と植生観察を実施し、植栽木(ミズナラ等)以外にも天然更新したセンヤクやオヒョウなど多数観察することができました。また、最後には今後の現地の取り扱いについての意見交換を実施し、方向性を確認しました。



平成20年6月21日(土)・22日(日)、JR函館駅西口横の「旧クイーンズポートはこだて」(大手町)において、「花と遊ぶ、緑と暮らす」をテーマにした、『はこだて花と緑のフェスティバル2008』が開催されました。当ふれあいセンターは21日(土)に参加し、森林環境保全ふれあいセンターの活動内容、自然再生モデル事業及び森林環境教育の取組内容、また森林の植物写真をパネルで紹介したほか、簡素な「樹木博士認定会」を実施しました。



平成20年6月28日(土)、北海道洞爺湖サミットの開催記念をするとともに、「美しい森林づくり推進国民運動」を盛り上げるために、洞爺湖町において北海道森林管理局主催による「国際交流森林環境フォーラム」が開催され、当センターも行事に参加しました。

当日は、国際交流センター(函館市)とも連携する中で海外(アメリカ・カナダ等)からの参加者含む総勢170名の参加があり、午前中は、噴火によって森林が失われた有珠山金比羅山火口周辺で、ミズナラ外4種450本の広葉樹をカミネッコンにより植樹し、午後からは、洞爺湖万世閣のホールに会場を移し、国際ワークキャンプの参加者と北大留学生による「地球温暖化と自分たちの取り組み」と題したフォーラムを実施しました。



また、翌29日(日)には、国際ワークキャンプの参加者10名とともに、有珠北面国有林においてトドマツ林の枝払いやカミネッコンによる植樹などの森林作業を行い、共に汗を流しました。



平成20年9月11日(木)、修学旅行で大沼を訪れた兵庫県立三田祥雲館高等学校の2年生約120人を対象に、大沼森林公園(七飯町)において森林教室を実施しました。

同高校の修学旅行は環境に配慮し、地球温暖化防止のための記念植樹や講話を通じて水質改善や森林の環境保全などを学習するとともに、移動に使う飛行機やバスなどが排出する二酸化炭素の一部を旅行代金に上乗せするかたちで埋め合わせる「カーボンオフセット」を今年度から採用していることもあり、当センターにも森林教室の依頼がありました。

始めに、ふれあいセンターの役割やブナが自生するなど道南の自然の特徴について説明をした後に、樹木の説明と記念しおりの作成を行いました。樹木の説明では、トドマツの松ヤニを出して見せたり、オンコの実を食させるなど、森林や樹木に興味を持ってもらえるよう行い、また、しおりづくりでは、1ヶ月前から準備したブナなどの押し葉をもとにパウチの方法を説明し、生徒達は思い思いに作成しました。

今回の森林教室が、修学旅行の思い出だけではなく、環境や森林について考えるきっかけになってくれることを願っています。



平成20年9月25日（木）、金堀小学校からの依頼を受けて、5年生42名を対象にした「森林教室（巣箱づくり体験）」を北海道立道南四季の杜公園（函館市亀田中野町）において実施しました。

作業にあたっては、生徒達は11のグループに分かれて作成。直接、木のぬくもり・温かさに触れ、また木材を身近に感じてもらうことができ、それぞれが有意義の中で終わることができました。



平成20年10月16日（木）、「大沼の水と緑を守る会」主催の「見学会」に参加しました。当日は、ふれあいの森箇所のカリマ国有林、及び当センターで実行している自然再生等モデル事業箇所の吉野山・西大沼国有林などを見学しました。各担当者から取組内容についての説明を受けた後に意見交換を行い、それぞれの更なる活動に繋がっていくことを確認しました。



平成20年10月25日（土）、道庁赤レンガ庁舎前庭（札幌市中央区）を会場に「道民森づくりネットワークの集い」が開催されました。当センターからは、今年度実施した「大沼地域自然再生等モデル事業」の取り組みについてパネル展示するとともに、パウチフィルムに挟んだ樹木の葉を使用した簡易な「樹木博士認定会」を実施し、大勢の方々とふれあうことができました。



平成21年2月25日（水）、渡島東部森づくりセンター主催「森への誘い講座」が、当ふれあいセンターの樹木博士認定常設コース（西大沼国有林）で開催されました。この講座は、森づくりセンターが年間8回の基本講座を行っており、今回はその第7回講座「冬の森林観察」と題して行われ、当ふれあいセンターは、フィールドの提供と講座のサポートを行いました。



国民の森林・国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13

TEL 0138-51-0381

FAX 0138-51-8178

E-mail h\_koma\_f@rinya.maff.go.jp